

2023 年度健康スコアリングレポートの実施方針

2023 年 11 月 24 日

2023 年度における健康スコアリングレポートについては、2022 年度の特定健診等データが掲載された保険者単位・事業主単位のレポートの配信を予定している。2023 年度は、現場からの要望を加味してレポートの充実・高度化を図るため、2023 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループにおいて議論された内容を踏まえ以下の方針で実施することとする。

(1) レポートの表示項目と表示方法について

- 共通評価指標の追加

新たな表示項目として、データヘルス計画の共通評価指標（後発医薬品の使用割合）を追加する。

- 基準年と比較した健康状況・生活習慣リスク保有者割合指数の出力

自組合の加入者の生活習慣リスクが基準年度の当該組合の状況と比較してどの程度改善・悪化したかを視覚的に把握できるよう、新たに「基準年と比較した健康状況・生活習慣リスク保有者割合指数」を新設する。

指標 1 保健指導判定基準に該当する者の割合・適正な生活習慣を有する者の割合の指数（当該組合の基準年度における指数=100）

指標 2 対象年度の指数を基準年度の分布に当てはめた場合の顔マーク評価

- レポートレイアウト変更（白黒印刷でも見やすい表示）

レポートの白黒印刷でも見やすい表示となるよう、全体的にコントラストの高いレイアウトに変更する。また、顔マークの色《良好（不良）の顔マークは明るく（暗く）表示》や、グラフの塗りつぶしパターンを変更する。

(2) 健康スコアリングシステムの改修について

- 直審レセプトデータの取り込み

NDB に直接格納するレセプトの医療費情報においても、当該保険者において自組合の医療費を表示するために、医療費集計の際に電子レセプトデータに加え、直接審査レセプトデータを医療費に合算して集計するようシステム改修を行う。

- ローデータ未出力数値の表示

ローデータ上一部非表示になっている項目値を表示させる。また、事業主単位レポート上の肥満等のスコア算出に係る数値に関してローデータ上に記録がないため、ローデータへ記録するよう変更する。

(3) 健康経営度調査との連携について

- ・ 記号単位特定健診・保健指導実施率の健康経営度調査への活用

健康スコアリングシステムにより作成した記号単位実施率のデータを活用し、健康経営度調査において企業（事業主）が特定健診・保健指導実施率を把握していることを評価するための設問を追加する。

(4) レポート周知の効果検証について

効果検証アンケートの結果などから、多層的周知によるレポート周知の効果は限定的であったものと判断し、多層的周知の継続実施（2023年度以降）は見送ることとする。岩盤層への対応は2023年度に実施した効果検証アンケートや、健康保険組合へのヒアリングを通じて検討する。

以上